

2008年12月19日

倉敷市長 伊東香織 様

日本共産党倉敷市議会議員団
団長 田辺 昭夫

急速な景気悪化を受けた市民生活への緊急対策について

（申し入れ）

市民の暮らしを守るために、日夜ご努力のことと存じます。

さて、年末を迎え、景気悪化が急速に進み、市民生活にさまざまな困難がもたらされています。世界的な同時不況が進む中、倉敷市においても、自動車関連企業が急激な減産に追い込まれ、派遣社員など非正規社員が「雇い止め」という形で、生活を奪われる状況が広がっています。社員寮からの撤去を求められ、住むところも生活費もない状態の非正規社員が寒空に放り出される状況は、非人間的なやり方だ、と企業に対する強い批判が起きています。

同時に、政府の緊急経済対策が景気悪化の現状を的確に捉えたものでなく、しかも、緊急対策と言いながら、未だに決まらない状況に、国民は政治不信を募らせるばかりです。

こうした状況において、倉敷市が、市民生活を守る立場に立った実効ある対策を、緊急に打ち出すこと求められていると考えます。以下の項目について、早急な検討及び実施を強く求めます。

記

- 1、 緊急経済・生活支援対策本部を立ち上げ、支所を含む各所に「雇用など困りごと相談窓口」を設置し、市民の住居と生活保障のための取組みを迅速に行う
- 2、 市内企業に対して、早急に非正規社員「雇い止め」をしないよう強力に申し入れるとともに、非正規社員の正社員化、国の政策に対応した年長フリーターの雇用促進などを働きかける
- 3、 倉敷市が雇用している非正規職員の生活を守る。市の業務を行う派遣職員及び市の職場で請負業務に従事する職員について、派遣会社、請負会社の賃金支給額、社会保険及び雇用保険加入の有無など調査し、問題があれば是正を求める
- 4、 玉島公共職業安定所廃止しないよう、関係機関に強力に働きかける
- 5、 原材料価格高騰対応等緊急保証融資の対象拡大を国に求めるとともに、活用を促進させる。全国労働金庫協会の緊急融資など、勤労者への低利な生活資金融資を広げる

以上。